

令和7年度 特色ある区づくり 区役所企画事業検討状況

(千円)

担当課	No	事業名	R7検討状況	ページ	区ビジョン	取り組みの形態	R6予算	R7予算案
建設課	1	秋葉区の花と緑にふれあい隊	継続	P.2	I 環境に配慮した潤いとやすらぎのある まち (2)人と自然が調和した美しい景観の保全	区民と協働による取り組み	6,500	6,000
				～ P.3				
新津地区 公民館	2	アキハの宝こども探検ツアー	継続	P.4	Ⅲ 歴史と個性を活かす まち (3)文化の継承と創造による文化活動の振興	区の伝統・文化など区が持つ魅力 や特性を活かした取り組み	100	200
				～ P.5				
産業振興課	3	アキハ「鉄道物語」	継続	P.6	Ⅲ 歴史と個性を活かす まち (2)個性を活かした交流のあるまちづくり	区の伝統・文化など区が持つ魅力 や特性を活かした取り組み	4,650	4,850
				～ P.7				
	4	【休廃止】 アキハもち麦推進Vol.2	休廃止	P.8	Ⅳ 可能性を生み出し・育て・活かす まち (1)産業の振興	区民と協働による取り組み	1,020	
	5	【新規】 アキハ大麦・小麦・もち麦推進	新規	P.9	Ⅳ 可能性を生み出し・育て・活かす まち (1)産業の振興	区独自の課題解決に向けた取り組み		1,550
6	花まる鉢花支援	継続	P.10	Ⅳ 可能性を生み出し・育て・活かす まち (2)全国屈指の園芸産地の魅力発信と環境にやさしい 安心・安全な農作物の供給	区独自の課題解決に向けた取り組み	1,220	900	
			～ P.11					
7	【休廃止】 わくわく石油楽習	休廃止	P.12	Ⅲ 歴史と個性を活かす まち (3)文化の継承と創造による文化活動の振興	区の自然・風土を活かした取り組み	900		
地域総務課	8	【新規】 アキハ石油文化学習	新規	P.13	Ⅲ 歴史と個性を活かす まち (3)文化の継承と創造による文化活動の振興	区の自然・風土を活かした取り組み		870
	9	子ども・若者公共交通乗車促進	継続	P.14	Ⅱ やさしさがあふれる楽しく元気な まち (5)交通網の整備と持続可能な地域公共交通の確保	区独自の課題解決に向けた取り組み	1,000	1,100
				～ P.15				
10	アキハスムプロジェクト Vol.3	継続	P.16	Ⅳ 可能性を生み出し・育て・活かす まち (4)関係人口の拡大と移住促進	区独自の課題解決に向けた取り組み	6,180	5,800	
			～ P.17					
11	アキハ人財育成	継続	P.18	Ⅳ 可能性を生み出し・育て・活かす まち (4)関係人口の拡大と移住促進	区民との協働を目指した取り組み	1,300	1,600	
			～ P.19					
合 計							22,870	22,870

【検討の状況】

R6年度 事業数	9事業
R7年度 予定事業数	9事業

【区ビジョンに対する令和7年度予定事業の内訳】

I 環境に配慮した潤いとやすらぎのある まち	1事業
Ⅱ やさしさがあふれる楽しく元気な まち	1事業
Ⅲ 歴史と個性を活かす まち	3事業
Ⅳ 可能性を生み出し・育て・活かす まち	4事業

合 計

22,870

22,870

【参考】
自治協議会
提案事業

6,130

6,130

令和 7 年度 区役所企画事業検討調書

1			
検討結果	継 続	事業開始年度	令和 5 年度から 秋葉区建設課
事業名	秋葉区の花と緑にふれあい隊		
区ビジョン	I 環境に配慮した潤いとやすらぎのある まち (2)人と自然が調和した美しい景観の保全		
事業の取組み	区民と協働による取組み		
事業目的	区の特徴である花と緑に親しむ環境整備や保全活動を区民協働で行うことで、「環境に配慮した潤いとやすらぎのあるまち」「やさしさがあふれる楽しく元気なまち」の実現を推進する。		
事業概要	<p>遊歩道歩いてみ隊（R2～R4年度）での取組みを拡充し、新津川・秋葉公園クリーン作戦の開催や国道403号フラワーロード事業の実施、関連施設の整備など、区の特徴である花と緑に親しむ環境整備や保全活動を区民協働で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○区民協働での緑化保全の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働クリーン作戦の実施（新津川・秋葉公園） ・環境整備促進のための機材貸与 ・国道403号フラワーロード実行委員会と協働したフラワーロード事業の実施 ○施設の整備・保全 <ul style="list-style-type: none"> ・案内サインの更新や駐車場整備による利便性向上 ・老朽化施設の修繕や支障木伐採による安全性確保 		
最終 成果指標 目標	クリーン作戦・遊歩道環境整備等の区民参加者数 1,700人		

R5 年度			
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 100人 ・フラワーロード種まき作業 50人 ・遊歩道に案内板の設置、公園トイレの洋式化、菩提寺山遊歩道入口駐車場の整備 		
事業内容 及び 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 290人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 230人 ・新津川水仙球根植え 66人 ・秋葉公園クリーン作戦 悪天候により中止 ・フラワーロード種まき作業 63人 <li style="text-align: right;">累計 649人 ・菩提寺山遊歩道入口駐車場の整備 		
事業費	予算額	6,500 千円	決算額 5,960 千円

事業名	秋葉区の花と緑にふれあい隊
-----	---------------

R6 年度			
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 200人 ・フラワーロード種まき作業 50人 ・案内サイン等施設の修繕、支障木の伐採 他 		
事業内容 9月時点の 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 11/3 開催予定 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 122人 ・新津川水仙球根植え 11/3 開催予定 ・秋葉公園クリーン作戦 11/16 開催予定 ・フラワーロード種まき 67人 <li style="text-align: right;">累計 189人 ・案内サイン等施設の修繕、支障木伐採 		
課題	<p>クリーン作戦等の環境整備活動に多くの方から参加・協力いただいているが、参加者の高齢化や固定化が進み、活動参加が難しくなっているとの声が出始めている。</p> <p>区民協働での活動を持続的なものとし、花と緑に親しめる区の魅力ある環境を次世代に引き継いでいくためには、次の担い手となる子育て世代や学生・若者など将来世代からの活動参加が課題となっている。</p>		
事業費	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: center;">6,500 千円</td> </tr> </table>	予算額	6,500 千円
予算額	6,500 千円		

R7 年度			
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 200人 ・フラワーロード種まき作業 50人 ・案内サイン等施設の修繕、支障木の伐採 他 		
事業内容 及び 実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ○区民協働での緑花保全の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働クリーン作戦の実施（新津川・秋葉公園） ・環境整備促進のための機材貸与 ・実行委員会と協働したフラワーロード事業の実施 ○施設の整備・保全 <ul style="list-style-type: none"> ・案内サインの更新や老朽化した施設の修繕など利便性の向上 		
事業費	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: center;">6,000 千円</td> </tr> </table>	予算額	6,000 千円
予算額	6,000 千円		

令和 7 年度 区役所企画事業検討調書

2			
検討結果	継 続	事業開始年度	令和 2 年度から
事業名	アキハの宝こども探検ツアー		
区ビジョン	Ⅲ 歴史と個性を活かす まち (3)文化の継承と創造による文化活動の振興		
事業の取組み	区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組み		
事業目的	秋葉区独自の宝（個性）を地域や団体と連携し、子どもたちの発見、体験の場として活用することにより、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを醸成する。		
事業概要	<p>◆対象 小学生を対象</p> <p>◆内容</p> <p>「チャレンジ！あきは体験隊」 ※地域と連携して歴史や文化を体験 各地区の施設見学、まち歩き体験など</p> <p>「あきはっ子里山体験隊」 ※里山を舞台に自然・歴史・文化を体験 自然観察、古代生活体験、産業遺産の見学など</p> <p>「秋葉教育懇談会」 区内教育関係者等を対象に、区の個性を活かした子どもの教育環境について、外部講師を交え、意見交換を行う。 ※ 令和4・5年度は「アキハスンプログラフvol.3」で、令和6年度からは「アキハ人財育成」で実施。</p>		
最終 成果指標	<p>◆達成指標 年1回以上開催</p> <p>◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実</p>		

R5 年度			
成果指標 目標	<p>◆達成指標 2講座以上を実施</p> <p>◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実</p>		
事業内容 及び 実施状況	<p>【チャレンジあきは体験】</p> <p>・8/19（土）9:45～12:00 ・八帖二間（新津本町2）で和室を学び、コースター作成を実施</p> <p>・参加者 小学4～6年生 4名 （ほかにスタッフ等7名）</p> <p>【あきはっ子里山体験隊】</p> <p>・10/15（日）9:15～11:45 ・里山ビジターセンターで植物のしおり作り</p> <p>・参加者 小学3～6年生 5名 （ほかにスタッフ等8名）</p>		
事業費	予算額	170 千円	決算額 123 千円

事業名		アキハの宝こども探検ツアー	
R6 年度			
成果指標			
目標		<ul style="list-style-type: none"> ◆達成指標 「チャレンジ!あきは体験隊」「あきはっ子里山体験隊」を一本化し、年1回開催 ◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史・文化・自然等を学ぶ学習機会の充実 	
事業内容			
9月までの実施状況		<ul style="list-style-type: none"> ・「発見!そーだったのか 秋葉区の気候」 (ペットボトルで雲を作るといった実験を交えながら、夏暑く冬は雪が多い秋葉区の気候の特性を気象予報士から学ぶ) ・日時:7/20(土)9:30~11:45 ・会場:小合地区コミュニティセンター ・参加者 小学3~6年生 29名 (ほかにスタッフ等7名+薬科大学学生ボランティア8名) 定員30名のところ40名の応募があり、抽選で受講者を決定(当日は1名欠席) ・保護者の関心も高く見学者多数。アンケート結果で参加者の満足度の高さが示された。 	
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は応募が低調だったため、2講座を統合した。しかし、今回の実施結果から、これまで見落とされていたテーマを掘り起こすことで、本事業に対する一定のニーズが見込まれることが分かった。 ・アメダス新津観測所の近くにある小合コミセンを会場として利用することで、地域コミ協からの協力が得られた。このような連携を強化していく必要がある。 	
事業費		予算額	100 千円

R7 年度			
成果指標			
目標		<ul style="list-style-type: none"> ◆達成指標 年2回開催 ◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史・文化・自然等を学ぶ学習機会の充実 	
事業内容			
実施計画		<p>地域と連携して、区内の特色ある歴史・文化・自然を体験(施設見学、まち歩き体験、自然観察など)</p> <p>テーマ・内容は検討中</p>	
事業費		予算額	200 千円

令和 7 年度 区役所企画事業検討調書

3				
検討結果	継 続	事業開始年度	令和 3 年度から	秋葉区産業振興課
事業名	アキハ「鉄道物語」			
区ビジョン	Ⅲ 歴史と個性を活かす まち (2) 個性を活かした交流のあるまちづくり			
事業の取組み	区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組み			
事業目的	<p>これまでに培った新津の鉄道に関する施設・歴史・人材などの地域資源を、商店街・地域住民・子ども達とともに活用し、「鉄道の街」への愛着と誇りを育むとともに、「鉄道」を基軸に街づくりに取り組み地域との連携を図り、さらなるまちなか活性化と交流人口の増加を図る。その交流の結節点でもある秋葉区の玄関口、JR新津駅を訪れた方々に秋葉区の情報をお届けながら再訪の縁を探る。</p>			
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 あ！キハ観光案内所運營業務 2 東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）新潟支社との連携事業（鉄道フェスタなど） 3 「にいつ鉄道商店街への活動支援 4 磐越西線沿線自治体等との連携 			
最終 成果指標 目標	<p>鉄道イベント来街者 3,000人 （鉄道商店街 300人、資料館共催1,000人、JR東日本連携1,700人） 観光案内所来所者数 8,000人（R03～R04）、10,000人（R05～）</p>			

R5 年度				
成果指標 目標	<p>《目標》鉄道イベント来街者 3,000人 （鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR東日本連携1,700人：臨時列車「マッチング・トレイン」参加者を含む） 観光案内所来所者数 10,000人</p>			
事業内容 及び 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ にいつ鉄道商店街によるSL発車時ホームでの物販を18回実施 ・ 豪雨災害で運休していた「SLばんえつ物語」の再運行日の7月29日にお見送りを実施 ・ にいつまるごと鉄道フェスタを開催（8,885人の来場） ・ JR新潟支社、区内商店街、新津観光協会による「鉄ぶら抽選会」の実施を支援（抽選回数は2,329回） ・ 阿賀野川ライン観光協会は、パンフレットの増刷、磐越西線SL定期運行推進協議会はフォトコンテスト及びスタンプラリーを実施し、沿線の魅力を連携して発信 ・ 観光案内所の来所者数は12,582人となり、昨年度（11,478人）と比較し約10%増加 ・ レンタサイクルの貸し出し数は1,025台※熱中症アラート発令時に貸し出し中止のため微減 ・ 郵便局との包括連携を活用した「ラッピングポスト」（区内4基）設置を新津観光協会、にいつ鉄道商店街と連携し実施 ・ にいつ鉄道商店街と協働で、さいたま市の「大宮ふれあい鉄道フェア」にブース出展（秋葉区観光パンフレット、新津鉄道資料館パンフレット、各900部配布） ・ 移住定住・観光振興・地域経済活性化を踏まえたマッチング列車「ほろ酔い恋活トレイン」企画運行（男女各14名、マッチング3組） 			
事業費	予算額	4,490 千円	決算額	4,157 千円

事業名	アキハ「鉄道物語」
-----	-----------

R6 年度	
成果指標 目標	《目標》鉄道イベント来街者 3,000人 (鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR東日本連携1,700人：臨時列車「マッチング・トレイン」参加者を含む) 観光案内所来所者数 10,000人
事業内容 9月時点 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・にいつ鉄道商店街によるSL発車時ホームでの物販を20回実施。(9月末時点) ・JR新潟支社、にいつ鉄道商店街、新津観光協会などと「SLばんえつ物語」の運行25周年記念イベントを4月29日に実施 ・磐越西線SL定期運行推進協議会でフォトコンテスト及びスタンプラリーを実施し、沿線の魅力を連携して発信 ・観光案内所の来所者数 10,654人(8月末時点) ・レンタサイクルの貸し出し数 666台(8月末時点) ・にいつまるごと鉄道フェスタを開催(予定) ・にいつ鉄道商店街と協働で、さいたま市の「大宮ふれあい鉄道フェア」にブース出展(予定) ・移住定住・観光振興・地域経済活性化を踏まえたマッチング列車「ほろ酔い恋活トレイン」企画運行(予定)
課題	・首都圏での「鉄道の街にいつ」の認知度の向上
事業費	予算額 4,650 千円

R7 年度	
成果指標 目標	《目標》鉄道イベント来街者 3,000人 (鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR東日本連携1,700人) 観光案内所来所者数 10,000人
事業内容 及び 実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所の運営 ・首都圏へのプロモーション事業 ・JR東日本、にいつ鉄道商店街、新津観光協会、阿賀野川ライン協会、磐越西線SL定期運行推進協議会等との連携事業(にいつまるごと鉄道フェスタ等)
事業費	予算額 4,850 千円

令和 7 年度 区役所企画事業検討調書

4			
検討結果	休 廃 止	事業開始年度	令和 5 年度から
事業名	アキハもち麦推進vol.2		
区ビジョン	IV 可能性を生み出し・育て・活かす まち (1)産業の振興		
事業の取組み	区民と協働による取組み		
事業目的	機能性に注目が集まる健康食「もち麦」を地域ブランドに発展させることを目指し、農業振興及び販売・消費拡大等に必要な支援を行う。		
事業概要	第1期（R2～R4）が終了し、新たなステージ（第2期：R5～R7）に移行 ・ フードメッセ出展、首都圏で開催されるイベント等、区内外でPRを行い、販路拡大を図る。 ・ 学校給食との連携、総合学習の開催、販促グッズの作成・配布等により消費拡大に努める。 ・ もち麦二次加工品の新商品開発を支援する。 ・ 農福連携の取組（ステップファーム）を支援する。 ・ 生産者と消費者との農業交流体験を実施する。		
最終成果指標目標	・ 「秋葉の里 白雪もち麦」販売促進事業数：13（R3年度11） ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」年間販売数量：11 t（R3年度10.3 t）		

R5 年度	
成果指標目標	<ul style="list-style-type: none"> 「秋葉の里 白雪もち麦」販売促進事業数：11 「秋葉の里 白雪もち麦」年間販売数量：10.5 t
事業内容及び実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ フードメッセや首都圏で開催されるイベント等への出展（店）、小学校総合学習等13事業を実施し販売促進、広報宣伝に努め、販売促進事業数は目標を達成した。 ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」年間販売数量は、9.9 t で目標に届かなかった。 ・ もち麦及びもち麦使用商品を新潟市ふるさと納税返礼品に登録し、「ふるなび」など9サイトに拡充されたポータルサイトも通じて全国へ、地域ブランドを発信した。
事業費	予算額 1,210 千円 決算額 606 千円
R6 年度	
事業内容及び9月までの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」を使用した商品開発等業務において、現在2者を支援中。 ・ 農福連携の取組（ステップファーム）に併せ、大人を対象に農業交流体験・講座を開催中。 ・ もち麦総合学習の中で児童が考案したアイデアをもち麦プロジェクトメンバーが商品化し、9月開催の山の手ふれあいまつりに出店し、児童と一緒にPR・販売をした。 ・ 今後は、フードメッセへの出展等各種事業を実施し、販売促進、広報宣伝を図る。
課題	・ 水田単作地帯である秋葉区の課題を解消するため、もち麦（大麦）だけでなく、機械化され収益性が高い、水田で栽培可能な麦類（大麦・小麦）を推進していく必要がある。
事業費	予算額 1,020 千円
事業費合計	予算合計 2,230 千円

実施により達成された効果等	・ Ak ihaもち麦プロジェクトメンバーと連携し、フードメッセやイベントへの出展（店）、小学校総合学習等、「秋葉の里 白雪もち麦」の販売促進・広報宣伝に努めた結果、年間販売数量は一定程度（年間10 t 前後）の水準を維持することができた。
令和6年度で事業を完了する理由及び今後の取組予定	・ 水田単作地帯である秋葉区の課題を解消するため、もち麦（大麦）だけでなく、機械化され収益性が高い、水田で栽培可能な麦類（大麦・小麦）を推進していく必要がある。 ・ 本事業は休廃止するが、令和7年度から「アキハ大麦・小麦・もち麦推進事業」を実施し、麦類の栽培面積拡大及び周知に取り組む予定。

令和 7 年度 区役所企画事業検討調書

5			
検討結果	新規	事業開始年度	令和 7 年度から
事業名	アキハ大麦・小麦・もち麦推進		
区ビジョン	IV 可能性を生み出し・育て・活かす まち (1)産業の振興		
事業の取組み	区独自の課題解決に向けた取組み		
事業目的	水田単作地帯である秋葉区の課題を解消するため、機械化され収益性が高い、水田で栽培可能な麦類（大麦・小麦・もち麦）を推進し、麦類の栽培面積拡大及び周知に必要な支援を行う。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋葉区産の大麦・小麦・もち麦の広報活動に努める。 ・ 大麦・小麦・もち麦の二次加工品の商品開発等を支援する。 ・ 麦類の栽培面積拡大に向けた需要の喚起に寄与するため、秋葉区パンまつりを開催する。 ・ 学校給食メニューを通じて、秋葉区産小麦の周知に取り組む。 ・ 農福連携の取組(ステップファーム)に併せ、大人を対象に農業交流体験・講座を開催する。 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 麦類（大麦・小麦・もち麦）の栽培面積：40ha（R5播種年29.0ha） 		

R 7 年度			
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 麦類（大麦・小麦・もち麦）の栽培面積：32ha 		
事業内容 実施計画	<p>【小麦・もち麦共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントへの出店、小学校総合学習等を通じた秋葉区産小麦・もち麦の周知 ・ 小麦及びもち麦を使用した二次加工品の商品開発等への支援 <p>【小麦】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋葉区パンまつり（秋葉区の魅力いっぱいプレゼント）の実施 ・ 学校給食メニューを通じた秋葉区産小麦の周知 <p>【もち麦】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」レシピブックの増刷（8,000部） ・ 農福連携の取組(ステップファーム)に併せ、大人を対象に農業交流体験・講座の開催 		
事業費	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">予算額</td> <td style="text-align: center;">1,550 千円</td> </tr> </table>	予算額	1,550 千円
予算額	1,550 千円		

令和 7 年度 区役所企画事業検討調書

6			
検討結果	継 続 事業開始年度 令和 4 年度から 秋葉区産業振興課		
事業名	花まる鉢花支援		
区ビジョン	IV 可能性を生み出し・育て・活かす まち (2)全国屈指の園芸産地の魅力発信と環境にやさしい安心・安全な農作物の供給		
事業の取組み	区独自の課題解決に向けた取組み		
事業目的	・秋葉区産鉢花の宣伝PRにより、「花のまち」のイメージ定着を図るとともに、花きの安定流通に向けた社会実験や販路拡大を通じ、花木産業の振興を目指す。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市産鉢花の安定流通に向けた流通社会実験（R4年度で終了） ・新日本海フェリー両ターミナルとあざれあ号での秋葉区産アザレア展示PRや行政施設などにおける秋葉区産鉢花の展示PR ・新潟県花木振興協議会と新潟県花き出荷組合と連携した鉢花見本市の開催支援（R5年度より） 		
最終 成果指標 目標	<p>【遠方市場流通量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠方市場流通量の前年対比と全体流通量の前年対比が比較において遠方の方がプラスになること。 <p>【鉢花宣伝PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる機会を捉え、秋葉区産鉢花PR。 <p>【鉢花見本市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉢花見本市における出荷金額の向上。（基準年度の出荷金額以上） <p>※基準年度は令和4年度に実施した見本市での出荷金額とした。 （コロナ禍で令和2、3年度未実施）</p>		
R5 年度			
成果指標 目標	<p>【鉢花見本市】（令和5年度～）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉢花見本市における出荷金額の向上。（基準年度（R4年度）の出荷金額以上） <p>【鉢花宣伝PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる機会を捉え、秋葉区産鉢花PR。 		
事業内容 及び 実施状況	<p>【鉢花見本市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内で鉢花見本市開催にあたり会場装飾など環境整備を支援しながら、県内外パイヤーを招いた見本市を開催した（出荷金額はR4年度並み）。また、県外の商談会に出店し、産地をPRした。 <p>【鉢花宣伝PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新日本海フェリー両ターミナル及び船内での秋葉区産アザレアの展示PR、行政施設などにおける秋葉区産鉢花の展示PR、を実施した。 		
事業費	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black;">予算額 1,340 千円</td> <td style="width: 50%;">決算額 923 千円</td> </tr> </table>	予算額 1,340 千円	決算額 923 千円
予算額 1,340 千円	決算額 923 千円		

事業名	花まる鉢花支援
-----	---------

R6 年度			
成果指標 目標	<p>【鉢花見本市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉢花見本市における出荷金額の向上。（基準年度（R4年度）の出荷金額以上） <p>【鉢花宣伝PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる機会を捉え、秋葉区産鉢花PR。 		
事業内容 9月までの 実施状況	<p>【鉢花見本市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本市自体は中止となったものの、WEB版見本市※により商談活性化を支援していく。 <p>【鉢花宣伝PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新日本海フェリー両ターミナル及び船内（らべんだあ号含む）でのアザレア展示PRや行政施設などにおける秋葉区産鉢花の展示PRの準備を進めているところである。 <p>※WEB版見本市：主に見本市当日に参加できなかった買参人等関係者向け商談を促す商品紹介WEBサイト。</p>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全国屈指の園芸産地である「花のまち」秋葉区の認知度向上。 		
事業費	<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>1,220 千円</td> </tr> </table>	予算額	1,220 千円
予算額	1,220 千円		

R7 年度		
成果指標 目標	<p>【鉢花見本市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉢花見本市における出荷金額の向上。（基準年度（R4年度）の出荷金額以上） <p>【講演会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花き花木に関する講演会の開催。 <p>【鉢花宣伝PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる機会を捉え、秋葉区産鉢花PR。 	
事業内容 実施計画	<p>【鉢花見本市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6年度中に炙り出したWEB版見本市の課題の改善点を反映し、R7見本市との相乗効果から上記目標達成を目指す。 <p>【講演会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6年度に黄綬褒章受章の片岡充氏を第一候補とし、講演会を開催する。 <p>【鉢花宣伝PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新日本海フェリー両ターミナル及び船内（らべんだあ号含む）でのアザレア展示PR、行政施設などにおける秋葉区産鉢花の展示PRなど。 	
事業費	<table border="1"> <tr> <td>900 千円</td> </tr> </table>	900 千円
900 千円		

令和 7 年度 区役所企画事業検討調書

7				
検討結果	休 廃 止	事業開始年度	令和 4 年度から	秋葉区産業振興課
事業名	わくわく石油楽習			
区ビジョン	Ⅲ 歴史と個性を活かす まち (3)文化の継承と創造による文化活動の振興			
事業の取組み	区の自然・風土を活かした取組み			
事業目的	秋葉区の丘陵では、古くから石油が採掘され、それを暮らしに利用してきた。この「石油文化」について、小学生を中心に普及啓発を進め、理解を深めてもらう。			
事業概要	石油の世界館友の会、石油の世界館指定管理者と連携し、リニューアルされた石油の世界館、一の沢地層観察コース、国指定史跡新津油田金津鉱場跡の施設など現地見学を含めた講座を開催する。 あわせて一般向けについても、イベント等に合わせて開催。			
最終成果指標目標	小学生、一般向け合計600人の参加（3年で12校）			
R4 年度				
成果指標目標	秋葉区内の小学校に対して、地域資源である石油への理解を深める取組みとして、石油の世界館友の会と連携し、10月中旬から楽習事業を実施する予定です。 今年度は5校の小学校（結小学校、新関小学校、新津第一小学校、小合小学校、金津小学校の6年生251人）が参加を予定しています。 目標 150人の参加			
事業内容及び実施状況	秋葉区内の小学校に対して、地域資源である石油への理解を深める取組みとして、石油の世界館友の会と連携し、10月～11月に楽習を実施しました。 参加校5校 6年生251名の参加 （結小学校、新関小学校、新津第一小学校、小合小学校、金津小学校）			
事業費	予算額	924 千円	決算額	800 千円
R5 年度				
成果指標目標	秋葉区内の小学校に対して、地域資源である石油への理解を深める取組みとして、石油の世界館友の会と連携し、事業を実施する。 R5年度は5校の小学校（6年生250人）からの参加を目標に取り組みます。			
事業内容及び実施状況	秋葉区内の小学校に対して、地域資源である石油への理解を深める取組みとして、石油の世界館友の会と連携し、10月～11月に楽習を実施しました。 参加校5校 6年生269名の参加 （新津第三小学校、新関小学校、結小学校、小合小学校、矢代田小学校）			
事業費	予算額	890 千円	決算額	809 千円
R6 年度				
成果指標目標	秋葉区内の小学校に対して、地域資源である石油への理解を深める取組みとして、石油の世界館友の会と連携し、事業を実施する。 R6年度は、参加者アンケートにおける里山施設等への再訪意向50%以上を目標に取り組みます。			
事業内容及び9月時点の実施状況	秋葉区内の小学校に対して、地域資源である石油への理解を深める取組みとして、石油の世界館友の会と連携し、10月～11月に楽習を実施予定です。 参加校5校 6年生179名の参加予定 （結小学校、新関小学校、小合東小学校、小合小学校、金津小学校）			
事業費	予算額	900 千円		
事業費合計	予算合計	2,714 千円		
実施により達成された効果等	秋葉区の地域の「宝」である「石油文化」について、小学生を中心に普及啓発を進め、地域の文化に一定の理解を深めてもらった。			
令和6年度で事業を完了する理由及び今後の取組予定	参加校12校、参加者600人を事業目標とした。 3年間で15校参加（全小学校12校のうち8校参加）および699人の児童が参加したことから、一定の事業目的を達成したことから事業を完了し、新たな区づくり事業の「アキハ石油文化楽習」に引き継ぐため。			

令和 7 年度 区役所企画事業検討調書

8			
検討結果	新規	事業開始年度	令和 7 年度から
事業名	アキハ石油文化学習		
区ビジョン	Ⅲ 歴史と個性を活かす まち (3)文化の継承と創造による文化活動の振興		
事業の取組み	区の自然・風土を活かした取組み		
事業目的	秋葉区の代表的な遺産である国指定史跡「新津油田金津鉱場跡」を中心とした石油産業遺産群など日本の産業を担ってきた歴史や文化に対する理解を深めてもらい、広く石油文化の継承と啓発を行い、区の魅力を発信していく。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 史跡及び石油の世界館を見学希望のある市内小学校に対するガイド活動 区内の小学校に対しては、地域の歴史・文化に触れてもらい、石油文化の継承を図る目的から予算の範囲内で移動に伴うバスの経費を市費で負担 ● 史跡「新津油田金津鉱場跡」案内リーフレットの増刷・配布 ● 石油の世界館友の会と共催による石油文化に関する市民向け講演会や各種講座の開催 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎年、市内小学校8校以上に対するガイド活動の継続と石油に関する市民講演会など各種講演会を5回開催 ● 石油文化の啓発と史跡活用に向けた機運醸成 		

R 7 年度				
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内8校以上に対するガイド活動 ● 石油に関する市民講演会（1回）と各種講演会の開催（4回） 			
事業内容 実施計画	<p>【ガイド活動】 区内外の小学校が石油の世界館及び史跡周辺を見学する際に、友の会会員によるガイド活動を行う。ガイドを担当した会員数に応じて講師謝礼と諸経費を支払う。 希望する区内小学校には、学校と見学先との移動に伴うバス経費を市費で負担（大型バス2台、マイクロバス3台分）</p> <p>【市民向け講演会の開催】 石油をはじめとす化石燃料や地学に関する講演会を開催する。</p>			
事業費	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">予算額</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">870 千円</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> </table>	予算額	870 千円	
予算額	870 千円			

令和 7 年度 区役所企画事業検討調書

9			
検討結果	継 続	事業開始年度	令和 6 年度から
事業名	子ども・若者公共交通乗車促進		
区ビジョン	Ⅱ やさしさがあふれる楽しく元気な まち (5) 交通網の整備と持続可能な地域公共交通の確保		
事業の取組み	区独自の課題解決に向けた取組み		
事業目的	区内を運行するバスの学生の運賃割引社会実験を実施し、ルートや運行時間などのニーズの把握や、乗車体験から継続した利用につなげるにより、公共交通の利用促進を図る。		
事業概要	①対象となるバス：秋葉区内を走行する秋葉区バス、金津線、下新線の3路線 ②対象者：区内在住・在勤・在学の小学生・中学生・高校生・大学生・フリースクール生等。学生証を持っている者。 ③割引内容：対象者が区内で対象となるバスに乗降した際、運賃割引をする。バスを降りる際に、学生証を見せることで中学生以上の学生は100円、小学生は、小学生であることを申告することで50円で乗車可能とする。 ⑤実施期間：予算に達したら終了 ⑥周知：PRはバス車内に社会実験実施中の表示をする。区内の中学校、高等学校へ周知を行う。		
最終 成果指標 目標	年間乗車人数前年比 10%増		

R6 年度				
成果指標 目標	年間の乗車人数前年比 10%増			
事業内容 9月時点の 実施状況	【R6年度実績】 ・下新線（6月-8月平均）： 820人/月（うち学生乗車人数 112人/月） ・金津線（6月-8月平均）： 200人/月（うち学生乗車人数 71人/月） ・秋葉区バス（6月-8月平均）： 2,819人/月（うち学生乗車人数 98人/月） 合計：3,839人/月（うち学生乗車人数 281人/月）			
実施予定	【全体乗車人数前年度比較】 R5（6月期-8月期平均）：3,067人/月 R6（6月期-8月期平均）：3,839人/月			
		R5 6月—8月平均	R6 6月—8月平均	増減
	下新線	551人/月	820人/月	49%増
	金津線	154人/月	200人/月	27%増
	区バス	2,362人/月	2,819人/月	18%増
	合計	3,067人/月	3,839人/月	25%増
	・成果目標としていた前年比10%増を大幅に上回り、バス利用者の拡大に繋がっている。 ・昨年度の学生乗車人数のデータはないが、当事業の実施によって学生の乗車人数が増加した結果、前年度比で増加したと推測する。			
課題	6月～8月の乗車人数をもって成果指標の達成を判断するのではなく、年度を通じた乗車人数や複数年度の調査結果を踏まえての判断が必要である			
事業費	予算額	1,000 千円		

事業名	子ども・若者公共交通乗車促進
-----	----------------

R7 年度			
成果指標 目標	年間の全体乗車人数前年比 10%増		
事業内容 実施計画	<p>①対象となるバス：秋葉区内を走行する秋葉区バス、金津線、下新線の3路線</p> <p>②対象者：区内在住・在勤・在学の小学生・中学生・高校生・大学生・フリースクール生等。学生証を持っている者。</p> <p>③割引内容：対象者が区内で対象となるバスに乗降した際、運賃割引をする。バスを降りる際に、学生証を見せることで中学生以上の学生は100円、小学生は、小学生であることを申告することで50円で乗車可能とする。</p> <p>⑤実施期間：予算に達したら終了</p> <p>⑥周知：PRはバス車内に社会実験実施中の表示をする。区内の中学校、高等学校へ周知を行う。</p>		
事業費	<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>1,100 千円</td> </tr> </table>	予算額	1,100 千円
予算額	1,100 千円		

令和 7 年度 区役所企画事業検討調書

10			
検討結果	継 続	事業開始年度	令和 4 年度から
事業名	アキハスムプロジェクトvol.3		
区ビジョン	IV 可能性を生み出し・育て・活かす まち (4) 関係人口の拡大と移住促進		
事業の取組み	区独自の課題解決に向けた取り組み		
事業目的	地域主体によるまちづくりを推進するため、秋葉区の特長・魅力をブランド化し発信することによるシビックプライドの醸成を図るとともに、移住のための仕組みづくりに取り組む。		
事業概要	<p>県外の移住希望者へ向けた移住に関する継続的な情報提供と区民の地域への愛着形成を促進する。AKIHA移住コンシェルジュによる移住相談や継続的な秋葉区の情報発信を行う。</p> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○AKIHA移住コンシェルジュの運営 ○Webサイト・SNS等を用いた情報発信 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○AKIHA移住コンシェルジュの運営・活動の周知及び強化 ○秋葉区の魅力を伝えるコンテンツ及び発信力の強化 		
備考	コミュニティスクール基盤整備については、自治協議会委員（金子委員、渡辺委員）提案によるもの		

R5 年度					
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的なオンライン移住相談会の実施 ○移住相談コンシェルジュの配置 ○自主的な活動を行う団体の支援とプラットフォームの構築と運用 ○移住モデル地区の支援 ○コミュニティ・スクール基盤整備のため講演会とワークショップの実施 				
事業内容 及び 実施状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. 商店街フラッグプロジェクト 商店街の街頭にフラッグを掲出し、「アキハスムプロジェクト」の認知度向上を図りました。 2. AKIHA移住コンシェルジュ 移住希望者への相談対応や、チラシ・WEBを通じた秋葉区のPR活動を強化。 実績：移住相談21件、その他の相談73件 3. 移住定住ネットワーク会議 移住者や関係者が意見を交換し、移住促進活動の連携を強化。参加者：25名 4. アキハスムフォトコンテスト Instagramでフォトコンテストを実施し、秋葉区の魅力を広く発信。投稿数：165枚 5. あきはクエスト 子ども向けのクイズ形式まちあるきを開催し、秋葉区の魅力を体験。参加者：197名 				
事業費	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black;">予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">6,050 千円</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;">決算額</td> <td style="text-align: center;">5,621 千円</td> </tr> </table>	予算額	6,050 千円	決算額	5,621 千円
予算額	6,050 千円				
決算額	5,621 千円				

事業名	アキハスムプロジェクトvol.3
-----	------------------

R6 年度			
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○AKIHA移住コンシェルジュの運営・活動の周知及び強化 ○秋葉区の魅力を伝えるコンテンツ及び発信力の強化 		
事業内容 9月までの 実施状況	<p>○AKIHA移住コンシェルジュ 昨年度、移住相談窓口を設け、移住支援体制を強化しました。今年度は、移住者座談会や移住体験ツアーのアテンドの実施に加え、他市町村の先進的な取り組みを学ぶ視察や講師の招聘も行い、さらなる支援を目指しています。 【相談件数7件、活動件数55件】</p>		
課題	<p>現在、アキハスムのWebサイトは閲覧者数が伸び悩んでおり、効果的な集客や情報発信が十分に行われていない状況です。また、ランニングコストがかかる一方で、サイトの更新作業が煩雑であり、運用の手間が大きくなっています。こうした状況から、Webサイトの運用がコストに見合った効果を発揮できているとは言い難く、必要性が低くなっていると考えられます。 そのため、低コストかつ簡単に情報発信ができる環境を整えることが重要です。これにより、より効率的な運用とターゲット層へアプローチが可能になると期待されます。</p>		
事業費	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: center;">6,180 千円</td> </tr> </table>	予算額	6,180 千円
予算額	6,180 千円		

R7 年度			
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○AKIHA移住コンシェルジュの運営・活動の周知及び強化 訪問する地域団体数:10 ○秋葉区の魅力を伝えるコンテンツ及び発信力の強化： web移設後のコンテンツ数：20 		
事業内容 実施計画	<p>移住コンシェルジュは、従来の活動に加え、各コミュニティ協議会と連携して地域の空き家情報を収集し、移住希望者への支援を強化します。また、秋葉区の魅力を伝えるため、WebサイトやSNSを活用して、視覚的なコンテンツを拡充し、広範な情報発信を行います。 空き家の情報収集・発信により、移住希望者が物件を見つけやすい環境を整備し、住まい探しの利便性を向上させます。これにより、移住の促進と地域の活性化を目指し、秋葉区の認知度向上と魅力ある地域づくりに貢献します。</p>		
事業費	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: center;">5,800 千円</td> </tr> </table>	予算額	5,800 千円
予算額	5,800 千円		

令和 7 年度 区役所企画事業検討調書

11			
検討結果	継 続	事業開始年度	令和 6 年度から
事業名	アキハ人財育成		
区ビジョン	IV 可能性を生み出し・育て・活かす まち (4) 関係人口の拡大と移住促進		
事業の取組み	区民との協働を目指した取り組み		
事業目的	活力あふれ持続可能なまちづくりを推進するため、地域コミュニティの強化及びシビックプライドの醸成を目指し、秋葉区の特性と魅力を理解し発信できる人材や地域活動したいと思う人材の育成に取り組む。		
事業概要	<p>秋葉区に興味関心のある方へ向けた様々な情報提供により地域の魅力の発見・理解を促進する。主体的なまちづくり活動に必要なスキル向上の機会を提供し、地域貢献を行う人材の育成や、自らSNS等を活用し秋葉区の魅力を内外に発信することにより地域に対する愛着形成を図る。</p> <p>また、地域が教育に積極的にかかわることで地域課題の解決の学習を通じて、児童・生徒に地域アイデンティティの醸成を図る。</p> <p>○アキハプライドソーシング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分野で活躍するゲストを招き、参加者とのトークセッション ・情報発信力やイベントの企画立案のスキルアップを支援するワークショップ <p>○AKIHA教育懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内教育関係者を対象にした懇談会 		
最終 成果指標 目標	<p>○秋葉区の特性と魅力を効果的に発信できる人材数の増加</p> <p>○まちをよくするために活動したいと思う人の増加</p> <p>○地域と学校の協働推進と地域の教育力向上</p>		

R6 年度	
成果指標 目標	<p>○秋葉区の特性と魅力を効果的に発信できる人材数の増加</p> <p>○まちをよくするために活動したいと思う人の増加</p> <p>○地域と学校の協働推進と地域の教育力向上</p>
事業内容 9月までの 実施状況	<p>○AKIHA移住（者）コミュニティMTG ワークショップと交流会を実施し、地域で活動する移住関係者が集まり、持続可能なネットワーク構築を図りました。6月14日 参加者30人</p> <p>○空き家活用セミナー 弁護士、建築士を講師に招き、秋葉区民約60名が地域の活性化を目指し、空き家の活用方法などについて学びました。8月2日 参加者60人</p> <p>○AKIHA教育懇談会 区内教育関係者向けに懇談会を開催 8月24日 参加者120人</p>
課題	<p>まだまだ移住者同士や地域住民とのつながりが限定的であり、相互のコミュニケーションや協力体制が十分に築かれていないことが課題となっています。</p> <p>移住者が地域に馴染み、積極的に地域活動へ参加するためには、より濃密で多様なネットワークの構築が不可欠です。</p> <p>さらに、移住者のバックグラウンドや関心が多岐にわたるため、それに対応した柔軟な交流の場が不足しています</p>
事業費	<p>予算額 1,300 千円</p>

事業名	アキハ人財育成
-----	---------

R7 年度	
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○秋葉区の特性と魅力を効果的に発信できる人材数の増加 SNS講座 参加者50人以上 ○まちをよくするために活動したいと思う人の増加 AKIHA移住(者)コミュニティMTG、座談会 参加者80人以上 ○地域と学校の協働推進と地域の教育力向上 教育懇談会 参加者120人以上
事業内容 実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ○「AKIHA移住者コミュニティMTG」 内容：ワークショップや交流会を組み合わせたイベントを開催し、地域で活動する移住者や関係者を集めます。これにより、参加者同士のつながりを深め、持続可能なネットワークを構築します。 ○「分野別座談会」 内容：様々な分野に特化した小規模な座談会を実施し、より深いテーマでの交流を図り、濃密なネットワークを形成するとともに、個別の課題解決や新たなプロジェクトの立ち上げを支援します。 ○「SNS講座」 内容：SNSの効果的な活用方法を学ぶ講座を開催し、個々の発信力を高めるサポートを行います。参加者がSNSを通じて秋葉区の魅力を広く発信できるようになるとともに、オンライン上でのコミュニティ拡大やネットワーク構築を支援します。 ○「AKIHA教育懇談会」
事業費	(案) 予算額 1,600 千円